

薬害とは何か

巧妙に操作された情報の波に漂流する
「被害の真実」を再定義する

第25回 薬害根絶フォーラム

第2部 徹底討論

花井十伍さん(HIV)
佐藤嗣道さん(サリドマイド)
小田美也子さん(筋短縮症)
高町晃司さん(スモン)
武田せい子さん(薬害肝炎)
出元明美さん(陣痛促進剤)
袖野直悦さん(薬害ヤコブ)
上野秀雄さん(MMR)
近澤昭雄さん(イレッサ)
梅本邦子さん(HPVワクチン)
【司会】勝村久司(薬被連副代表)

1

「薬害」の定義は？

• 知っておきたい薬害の知識

～薬による健康被害を防ぐために～

(2010年 PMRJ 日本公定書協会 土井修ほか)

- ①適正使用によっても起こり得る副作用（SJSなど）
- ②適正使用されていれば防ぎ得た副作用の内被害の範囲が個人レベルのもの（トリグリタゾンによる肝障害など）
- ③適正使用されていれば防ぎ得た副作用の内被害の範囲が広範囲で社会的レベルのもの（ソリブジン、筋短縮症、イレッサ、陣痛促進剤、など）
- ④企業や行政の瑕疵や不作為等が原因で起こった医薬品による健康被害（エイズ、サリドマイド、スモン、MMR、CJD、薬害肝炎、クロロキン、など）

2

「薬害」の定義は？

• 薬害とは何か ～新しい薬害の社会学～

(2023年 本郷正武 佐藤哲彦 編著)

医薬品による健康被害のうち社会問題となったもの

(レギュラトリーサイエンス財団2012)

↓

薬害 = 健康被害 + 生活上の被害

- ①医学薬学的な因果関係による副作用問題としての薬害
- ②医薬品製造・管理主体の責任問題としての薬害
- ③現代産業資本主義や社会構造に起因する産業災害としての薬害
- ④社会的排除からの回復と連帯を求めるべき問題としての薬害

3

薬害の定義は？

• 全国薬害被害者団体連絡協議会のスローガン

子どもたちを薬害の被害者にも加害者にもしたくない

薬害の原因は薬だと思いませんか？

- 単なる「重篤で社会問題化した副作用被害」ではない。
- 専門家が健全に判断し言動していれば、被害をより早期に止めることができた人災。
- 産官学の故意によって被害が拡大したもの。

それぞれの薬害の立場から薬害を定義すると？

4

＜専門家の利益相反とプロモーション＞ 結論だけの繰り返しに洗脳されない

- 厚労省が認可している。WHOが推奨している。
↓(権威や肩書だけで無批判に信じ込まない)
推奨の理由は？認可の過程は？納得できるか？
- 論文で結論が出ている。海外ではそうしている。
↓(一律的な同調圧力を無批判に受け入れない)
様々な論文等を自分で実際に読み信頼性を検証する。

5

薬害被害者は何と闘ってきたのか

- ・病気、障害、副作用、(健康被害)
- ・裁判、**事実認定**、偏見・差別、(生活上の被害)
- ・**真実を曲げる情報操作・プロモーション**
↓
産官学や医療界の関係者は責任を逃れようとする。
↓
健全な原因分析・再発防止ができない→被害の拡大

6

全国の全ての中学3年生に10年間配布され、 昨年度から「公共」の授業用に高校に配布されている 「薬害を学ぼう」の冊子から何を学ぶか

- ・ 経済優先の資本主義社会の中の消費者教育
- ・ 被害から素直に学べる個人や社会を育てる教育
- ・ 情報公開と市民参加に関する民主主義教育
- ・ 行政、司法、国会等との社会運動に関する教育
- ・ 偏見や差別と人権教育
- ・ 薬害に関する現代社会の歴史教育
- ・ 技術と人間に関する倫理教育
- ・ 医薬品に関する科学教育

7